岳連ニュース
宝永
URL:http://www.shizuokam.com

(一社)静岡県山岳・スポーツクライミング連盟
〒422-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL(FAX)054-288-7512
編集発行/総務委員会
令和3年11月29日発行
第３７号

寸又三山の前黒法師岳、沢口山に登る
第15回しずおかスポフェス登山大会

第15回しずおかスポーツフェスティバル登山大会は、寸又峡を取り囲む山域、前黒法師岳、沢口山を会場に11月6日、7日に開催された。

昨年は、コロナ感染動向を考慮して1泊2日コースを中止して、日帰り登山のみでの開催となったが、本年は新型コロナの緊急事態宣言が解除されたことで、寸又峡でのテント泊を実施する大会となった。

1泊2日の前黒法師岳のコースでは、12名の参加者が寸又峡の公園に集まるが、開会式後には雨に見舞われ、翌日の天候が気掛かりなテント泊となった。幸いにも、翌朝雨も上がり、参加者とスタッフは、早朝6時に前黒法師岳に向けて出発した。夢の吊橋を渡り、前黒法師岳へのピストンであったが、健脚揃いの参加者で、15時半過ぎにはかじか沢公園に無事到着した。

一方の日帰り沢口山のコースでは、早朝から御殿場や浜松など県下各地から、37名の参加者が雨上がりの道を寸又峡に集まった。連盟の木ノ内会長はじめとするゲストやスタッフも含め、総勢50名が6班に分かれ、日向山コースから沢口山に登り、富士見平から猿並平コースを周回した。

ややすっきりしない秋空のもとでしたが、登るにつれ、周囲の山々の展望も開け、青い空と赤や黄色の紅葉を愉しむことができました。山頂では雪化粧した遠望の富士山を眺めることもでき、参加者の皆さんには、改めて深南部の山々の魅力を味う機会となったと思いました。

今回は、沢口山コースが予定より早い到着となり、コースの閉会式が2部構成で行われ、参加者全員が一同に会する機会はありませんでしたが、登山大会のスタッフの皆さんのおかげで参加者全員が、事故なくトラブルなく無事登山することができました。ありがとうございました。

又来年、御殿場地区でお会いしましょう。

（鈴木雅春）


前黒法師岳コース




沢口山コース











全国制覇富士高（男子）
富士宮西（女子）健闘するも13位



第65回全国高等学校総合体育大会登山大会が８月20日～23日に福井県勝山市で行われた。本県出場校の富士高校（男子）が初優勝し、富士宮西高校（女子）は健闘するも13位で終わった。なお、富士高校は前回の宮崎県大会（令和元年度）では、男子・女子共に出場し、女子は二度目の優勝を果たしている。

山域は石川県との県境を越えて白山へと連なる加越山地の山々である。平泉寺白山神社を起点に白山山頂に至る道は、奈良時代に越前の泰澄大師が開いた白山禅定道として、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれている。

全国的に新型コロナウイルス感染が蔓延し、大会期間中は静岡県も含め13都府県に緊急事態宣言が、８県に蔓延防止等重点措置が発出されていた。昨年度は中止となり、本年度の開催も危ぶまれたが、大会実行委員会の努力により万全な感染症対策で実施していただいたことに感謝する。

例年３日間の山中行動を２日間に短縮日程にして実施された。かってない遅い時期の大会であること、大会コースが短いコースであったことで結果にあまり差が出ないことが予想された。また、大会前の約10日間は日本付近に季節はずれの前線が停滞し大雨となり大会への影響が心配されたが、天候は回復し開会式は無観客で予定通り行えた。

大会２日目の三頭山は、白山平泉寺の裏山の修験道、大会３日目の取立山は、勝山市郊外のミズバショウが有名な1300ｍ程度の山である。審査においては、読図は三頭山で12ポイント、取立山で２ポイントであった。例年20ポイントあり、残り６ポイントは付与点で、全て明確なポイントであった。炊事審査は無く、設営は感染症対策でテントをその場で撤収し、撤収時の作業も審査対象であった。体力では、得点が大きく減点されたチームがあり男子の満点は13チームのみであり、男女とも上位は混戦となった。その中で静岡県勢の活躍は目を見張るものである。来年度以降も静岡県勢の活躍が期待される。



（鈴木重幸）

大会結果（６位まで入賞）

順位	男　子	女　子
１位	富士（静岡）	千葉東（千葉）
２位	前橋（群馬）	高崎女子（群馬）
３位	村山産業（山形）	盛岡第一（岩手）
４位	岡山工業（岡山）	就実（岡山）
５位	神戸（兵庫）	長田（兵庫）
６位	広島学院（広島）	山形西（山形）
１３位		富士宮西（静岡）

全国大会出場選手決まる
静岡県高校クライミング競技大会

第22回静岡県高等学校クライミング競技大会が、第12回全国高等学校選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねて、11月３日（水）に、スクエアクライミングセンターにて行われました。

６校16人（男子11、女子５）の生徒の参加があり、人数的には少ない参加数でありましたが、全国代表枠をかけて熱戦が繰り広げられました。

女子予選は５壁で中盤から悪く中里さんが終了点に迫り1位通過（グレードは12ａ）し、３名が決勝に進出。

男子予選はメイン壁右側から中央部を登るルートで鈴木音生君と鈴木大翔君が安定した登りで登りで完登。５名が決勝に進んだ（12ｃｄ）。

女子決勝は、６番壁からルーフを超えメイン壁上部に入るルートで上部で新木さんが遠いホールドに思い切りよく手数を伸ばし逆転で優勝した（12ｂ）。



男子は、メイン壁を左寄りに登るルートでデット気味の部分も多い体幹のいるルート（13ａ）で、力をつけてきた鈴木大翔君が先に完登し、その後登った鈴木音生君がそれを上回るタイムで安定した登りをみせ２年連続の優勝となった。

なお、12月25日・26日に埼玉県加須市で行われる全国大会は、個人戦のみですが、選手の本大会での健闘を期待したいと思います。

会場を提供をしていただスクエアさん、セットを担当していただいた瀧浪さん、および運営に協力してくださった多くの方々に感謝申し上げます。全国大会出場者は以下の通り。

（諸戸　明）

男子
１位　鈴木音生（静岡翔洋・シード選手）　２位　鈴木大翔（藤枝西）
３位　池田鋼史（静岡翔洋）

女子
１位　新木結衣（浜松日体）　２位　中里溪夏（三島北）

安全登山者指導者研修会
コロナ禍でオンライン研修に

10月23日（土）に、安全登山者指導者研修会（東部地区）がオンラインにより開催された。本来なら、三重県の四日市で開催予定だったがコロナ禍により変更となった。受講者は70名程度だった。

国立登山研修所長、日本山岳スポーツクライミング協会長の挨拶のあと、講義は３部門にわたって行われた。

講義１　名古屋工業大学教授の北村先生による「ＰＤＣＡを活用した完全登山の指導」だった。

遭難事故の要因・リスク・リスク源を外的要因・内的要因・時間的変化と分け解り易く説明されていた。

登山は観光旅行ではなく、危険を内在した野外スポーツということを図で解り易く説明され、その上でリスクアセスメント（リスクの特定・分析・評価）を行い、リスクをコントロールして遭難を回避する手法を説明された。また、ダメージコントロールでは危急時の対応は全力でダメージの拡大を防ぐ努力について説明された。

講義２　山岳ガイド・日本レスキュー協会会長の小林亘氏による「地形図の読み方とナビゲーション」

最初に印象的だったのはこの頃流行のスマホアプリのログは100％あてにならないという話だった。私もそれは経験しているので凄く共感した。

講義内容は地形図の約束事を説明された。その上で読図をして予測する事。ナビゲーションの実例を示された。地形図を使って山行を計画するのは、単に行程を考えるだけでなく、現地での現在地把握の可能性、判断と材料をはっきりさせて記憶するということで計画書はその覚え書きという予測の話は難しいと感じながら納得できた。

講義３　国際山岳ガイド・長岡健一氏による「一般登山のセルフレスキュー（危急時対応）」

動画にて次の３点を説明された。

①「ストックを利用しての松葉杖の作り方」

ストック２本と木の枝とフリースとタオルを用いての松葉杖を作成。

②「ザックによる担架の搬送」

40Ｌ～50Ｌのザックを３つ使用して作成。頭になる部分に事前にタオル等を入れてクッションにする。

③「ビバーグツエルトの張り方」

もっとツエルトを使えるようにツエルトを入れる袋を大きくする。従来の袋だと片つけるのが面倒。事前に張り綱（2㎜×2Ｍ程度）を４隅つけておき、すぐに使用できる様にしておく。これは本当に良い事と思い、早速ツエルトを大きな袋に入れ換えハイキング程度の山でも持っていくようにしました。



まとめ　自宅で居ながら、国立登山研修所の講師陣の講義を受けられ長い講義ですが、有意義な時間でした。しかし、リモートでは説明が難しい事もありました。また、セミナーで使用されるいかなるものも著作権の問題で録画・録音・画面キャプチャーが禁止され、文章だけの報告となり大変解り難いと思いますがお許しください。

（鈴木　修）

山岳会紹介

静岡エキスペディションクラブ
会長　赤堀　正

静岡エキスペディションクラブは、１９８８年10月15日創立。

当初、静岡市近郊の海外遠征を目的とする若者が集まり作られた会です。

新会員は既其々個々に山での活動をしており当初から自由な空気が有った。

１９９７年にパキスタンで事故が有り２人の隊員を失ってしまう。

以後海外遠征の計画も無くなり、会員も徐々に減っていき現在は当初の会員は現役での活動出来る人は居なくなってしまった。

しかし当初の自由な空気は今も残り最近はクライミング志向の若い人も増え、個人的に海外に行く者もおり、又会で海外遠征の計画も出てきたが、昨今のコロナ騒ぎで止まってしまった。

活動はクライミング、沢、釣り、山スキー、ハイキング等幅広い。

年齢差も幅広く、力量の差も幅広い個性豊かな人材が集まっている。

結果、其々個々の活動が多くなってきている。

会員数25名　男22名　女3名

（赤堀　正）

主な活動

2011年8月	剣、八つ峰クライミング	4名
2012年11月	鹿島槍	3名
2013年4月	茶臼岳	4名
2014年8月	剣、沢登り　八つ峰クライミング	6名
2015年3月	八ヶ岳クライミング	3名
2016年1月	高ボッチ山スキー	5名
2017年3月	鹿島槍東尾根　登攀	5名
2018年11月	三宅島クライミング、観光	7名
2019年8月	南ア縦走 甲斐駒～朝日岳寸又郷	2名
2020年1月	八ヶ岳・稲子岳南壁＆天狗岳	6名

未来に残そう美しい山河

南アルプス写真展　静岡県山岳四団体

静岡県山岳４団体（静岡県山岳ＳＣ連盟、静岡市岳連、ＪＡＣ静岡支部、静岡労山）による「第４回　南アルプス写真展」が11月２日（火）から７日（日）まで静岡市役所の市民ギャラリーで開催された。

作品は参加団体の会員や一般からの応募で131点が展示された。被写体は、県内外から撮影した南アルプスの自然（山・動物・植物）、人、山小屋などが対象で迫力のある力作ぞろいで見ごたえたえの有るものが多かった。

期間中の来場者数は819人と昨年より増加し、受付担当者も延べ67人となった。



鑑賞者の感想は「やはり、山の好きな人たちの写真は見応えが在るね」と好評でした。

最近は大型カメラを持たずスマホのカメラで写真を楽しんでいる方が多くなっていますが、スマホのカメラの性能も向上しＡ４版の作品が出展されていました。

写真展開催に当たり、企画、準備された方々、当日の受付を担当された方のご協力に感謝すると共に、作品を提供してくださった方々にお礼を申し上げます。

県岳連の出展作品は次の通りです。

（前川朝夫）

氏　名	タイトル	撮影場所	所　属
山田瑞穂	雲海のバットレス終了	北岳	中遠登山クラブ
山田瑞穂	鋸から朝日登る	鋸岳	中遠登山クラブ
山田瑞穂	ザ!!甲斐駒	アサヨ峰	中遠登山クラブ
内海廣治	兎…山頂　ま近	兎岳	中遠登山クラブ
内海廣治	相棒　バテる	兎岳	中遠登山クラブ
内海廣治	深南の森	鶏冠山	中遠登山クラブ
内海廣治	房小の秋	房小山	中遠登山クラブ
内海廣治	丸盆晩秋	黒法師岳	中遠登山クラブ
清水敏弘	赤石を目指す	赤石岳	中遠登山クラブ
清水敏弘	明瞭富士	千枚岳	中遠登山クラブ
川合孝昌	美貌の青空	中ノ尾根山	島田しらびそ山の会
川合孝昌	ウッド富士	山伏	島田しらびそ山の会
兼子　猛	西農鳥からの間ノ岳	西農鳥岳	藤枝山岳会
兼子　猛	冬に備える雷鳥	塩見小屋	藤枝山岳会
朝妻兼司	赤石岳に続く縦走路	兎岳	島田ハイキングクラブ
鈴木雅春	子笊と富士	笊が岳	島田ハイキングクラブ
鈴木雅春	剣と鳳凰	甲斐駒ヶ岳	島田ハイキングクラブ
佐藤 幸男	赤石からの富士	赤石東尾根富士見平	御殿場山岳会
佐藤 幸男	農鳥岳より	農鳥岳（3026m）	御殿場山岳会
佐藤 幸男	白根三山稜線	北岳（312m）下部稜線	御殿場山岳会

第２回理事会

日時　令和３年９月６日　18時30分～20時30分

会場　静岡男女共同参画センター「あざれあ」

出席者　理事　11名、

理事　木ノ内高嘉、滝田博之、鈴木重幸、前川朝夫、小林久二彦、大石幸男、鈴木修、鈴木雅春、内海廣治、加藤敏美、諸戸明、欠席　理事　７名、

監事　２名

他スポフェス説明者：兼子猛、

木ノ内会長挨拶、

コロナの感染拡大、静岡県緊急事態宣言によりいくつかの計画が中止となり、三重国体も中止となった。今年度は、東海ブロック大会の担当県となり、実施が危ぶまれたが、感染防止対策を厳格にして実施した。本県は成女、少女の２種別が本国体の出場権を獲得した。

山岳スキーが26年の冬季五輪種目に正式決定した。

(1)各委員会報告

①指導遭対委員会（内海）

・山岳コーチ養成講習会に３名の申し込みあり。講習１を７月11日に実施、講習２はコロナ緊急事態宣言にて11月28日に延期。

・冬山登山講習会は、令和４年２月５日（土）～６日（日）を予定。山岳コーチ養成講習会（講習３）同時開催予定。

・夏山教室は６月９日山伏で受講者９名、講師４名で実施した。

・秋山登山教室はコロナ緊急事態宣言にて中止。

・指導者研修会：令和４年１月29日（土）　会場：静岡　あざれあ　講師：宮内佐和子氏

・主任検定員養成講習会　コロナ対応にて３月に延期、会場：埼玉　参加適任者を選出中。

②競技委員会（諸戸）

・東海ブロック大会、７月17日～18日　本年度開催県の三重県は、コロナ対策関係で不参加。

(2)スポフェス（兼子）

・11月６日（土）～７日（日）、奥大井・沢口山、前黒法師岳

(3)初級セルフレスキュー講習会

・令和４年１月15日（土）　会場未定

(4)第22回高校クライミング競技会

・11月３日（水）　予定

(5)第22回竜爪山岳競技会

・12月12日（日）　会場　竜爪山周辺。

競技コース：三本桜下～穂積神社～薬師岳山頂。

受付８時45分、開会式　、９時10分、静岡市平山公園。スタート10時30分三本桜下。

一般男子・高校男子の部　規定荷重　21kg

一般女子・高校女子の部　規定荷重　17kg

表彰は各種別とも個人３位までを表彰する。

学校対抗は個人上位３人の所要時間合計で３位までの学校を表彰する。

(6)令和４年岳連カレンダー

今年も作成する、作成費用が値上がりし100円ほど値上げしなくてはならない。１部千六百円で販売の提案があり、承認する。

(7)その他

①個人会員　14名になりました。

②第４回南アルプス写真展

期日　11月２日（火）～７日（日）静岡市役所本館１Ｆ市民ギャラリ。

作品募集しているので各会の協力をお願いします。

（前川朝夫）